

令和 8 年度 妙高市通学路における合同安全点検 結果一覧表

<要請の観点>
観点① 見通しのよい道路や幹線道路の抜け道になっている道路など車の速度が上がりやすい箇所や大型車の進入が多い箇所
観点② 過去に事故に至らなくても、ヒヤリハット事例があった箇所
観点③ 保護者、見守り活動者、地域住民等から市町村への改善要請があった箇所
観点④ その他

番号	小学校名 及び通し番号	危険箇所			合同点検の有無					対策実施担当			学校・教育委員会の対策実施時期			学校・教育委員会の対策内容					備考
		危険箇所の位置・形状	理由	要請の 観点	R6年度 点検実施	R7年度 点検実施	今回新たに 点検を 実施	実施しない場合、 その理由		学校・教育 委員会	道路管理者	警察	対策済	本年度中 に実施	来年度以 降実施	通学路の 変更	ボラン ティア等 による見 守り活動	安全教育 (注意喚 起)	その他		
1	新井小1	新井中学校前アカシア通りの長森橋付近	歩道の幅が狭く、また橋の手すりも低いため、自転車が歩道を通る場合は、危険である。	①②	○	○				○	○				○			○		橋梁架替計画中（道路管理者）	
2	新井小2	新井流雪緑道公園	小中学生が通学路として利用している。何ヵ所か市道と交差するところがあり、そこでの徒歩や自転車の飛び出しがみられる。車両が入れない柵があるだけで、ミラーや表示はない。	①②	○	○				○								○		PTAで注意喚起の看板を作成する場合は、公園管理者と協議する。	
3	新井小3	本田北部・経塚・広田	側溝のふたがない。落ちそうである。	③	○	○				○	○			○				○		蓋の設置は難しい。消えている外側線を引き直す。（道路管理者）	
4	新井小4	錦町バス停隣の田んぼ	かなりの段差があるが、積雪時には気づきにくく危険である。	③		○				○								○		柵の設置基準の高低差に達していないため、柵の設置はできない。	
5	新井小5	新井中音楽堂側道路	段差や用水路があり、危険である。	③		○				○								○		柵の設置基準の高低差に達していないため、柵の設置はできない。	
6	新井小6	白山町1の信号から一方通行の道路	側溝のグレーチングの蓋が無いところがあるため、大きい車が通るときに歩行者が避けると側溝に落ちてしまう可能性がある。	③			○			○	○				○			○		蓋の設置は難しい。消えている外側線を引き直す。（道路管理者）	
7	新井小7	ひばり園から小出雲公園に向かう道路	歩道がなくスピードを上げて走る車がいるため危険である。	③			○			○	○			○				○		電柱に注意喚起の表示を検討する。（環境生活課）	
9	新井中央小1	(有)金子石材工業前の急カーブ	大崎町にある(有)金子石材工業前の急カーブは、近くに商業施設があり日常的に交通量が多い。しかし、カーブ手前での減速が不十分な車両が多く、事故発生のリスクが高い状況である。通行者の安全確保のため、「スピード落とせ」等の道路ペイントや減速を促す標識の新設を要望する。	③			○						○							対応済み	
10	新井中央小2	石塚公園前の横断歩道	石塚公園前の横断歩道の色が薄く、また緩やかな坂になっており、ドライバーに分かりづらい。直線でスピードが出ていて車が停止してくれない。子どもたちが多く集まる公園であり、しっかりと注意喚起のできる対策をお願いしたい。	③			○						○							対応済み	
11	新井中央小3	諏訪町2丁目5番地内から学校へ向かう道路	諏訪町2丁目5番南側の通学路は路側帯が極めて狭く(冬期はさらに縮小)、児童の通行が非常に危険である。従来は冬期のみ道路を渡り対向の歩道を歩かせていたが、年間を通じた安全確保のため横断歩道の新設を要望する。	①			○			○							○	○		ゾーン30の表示あり。通行人数が少ないため、横断歩道は設置不可。道路を横断する場合は、保護者による見回りを依頼する。	
	斐太北小1	斐太北保育園から63号線を渡る地下道	地下へ降りるため、人目につかなくなるので危険である。以前(数年前)、地下道でギターを弾きながら歌っている人物がおり、警察へ情報提供を行った。	①	○	○				○	○			○				○		地下道の照明を点検し、必要に応じて不点灯箇所等について修繕する。（道路管理者）	
13	斐太北小2	国道18号乙吉交差点	交通量が多く、さらに右左折車もあり、児童が横断する際に注意を要する。	①③	○	○				○		○		(○)	(○)			○		横断歩道引き直し（妙高警察署）	
14	斐太北小3	県道63号線 乙吉交差点から南方面へ進む道路	交通量の多い路線であるが、歩道が両サイドにないため、横断を余儀なくされる児童もいる。さらに、ガードレールもなく、歩道の脇には用水路が流れており、児童の通学路としては危険な要素が多い。冬季は歩道が凍結して、転倒の危険がある。登校時に荒天、路面凍結の場合、保護者が学校に送っている児童が数名いる。	③	○	○				○	(○)							○		除排雪について、状況に応じて道路管理者へ連絡する。	

15	斐太北小4	神宮寺地内歩道	夏季は歩道を通行しているが、冬季は歩道に除雪車による雪が堆積するので、車道を歩かざるを得ない。	③	○	○					○	(○)							○		歩道除雪は住居が多い東側を実施していることから西側の歩道除雪は困難である。状況に応じて道路管理者へ連絡する。
16	斐太北小5	上十日市地内県道63号線	冬季間、県道63号線の除雪によって、住宅地側に雪壁ができる。反対側の除雪済みの歩道へ行くために県道を横断する際、雪壁によって左右の見通しが悪く、横断の際に児童と車両が衝突する恐れがある。また、春から秋にかけて歩道や路側帯の雑草が伸び、低学年児童の背丈ほどになっても放置されているときがある。	①② ③		○				○	(○)		(○)						○		横断歩道を設置することはできない。 除雪は車道を優先せざるを得ず早期の雪壁排雪は困難。状況に応じて道路管理者へ連絡する。 道路区域内の雑草対応は、実施済み。
17	斐太北小6	スノーマン前交差点信号	雪森方面から来て、信号を左折する際に、横断歩道を歩く児童に気付かないことがある。 児童下校時に、歩行者用信号が青で横断しようとした際に、スクールバスが左折してきて児童が危険を感じることがあった。	②③			○			○		○		(○)	(○)				○		横断歩道引き直し（妙高警察署）
18	新井北小1	稲塚広島線 月岡2丁目カーブ付近	(既に様々なご対応をいただいています)①道幅が狭い②見通しが悪い③歩道がない④[冬期]除雪の雪で白線が隠れ一層狭くなる。児童は、車道ぎりぎりを歩くか、でこぼこした雪の上を歩くしかない。	①③④	○	○				○	(○)								○		横断歩道の設置は不可。 「カーブ注意」路面標示は設置済み。 積雪時の排雪は、状況に応じて道路管理者へ連絡する。
19	新井北小2	稲塚広島線 上百々西線 ～北新井月岡線との交差点 ～月岡小学校線との交差点	・バイパスから長野への抜道として使われているのか交通量が多く、速度が速い車が多い。 ・朝の出勤と重なり交通量が多くなりのスピードの車が多い。下校時間でもスピードの速い車が走っている。通学路の表示や標識が見当たらない。 ・小学生が歩く側と反対側に中学校へ向かうバス停がある為、そちらの方には中学生が歩いていて道路の両側とも歩行者が多い。・R8から児童通学路となった	③			○			○	(○)								○		横断歩道の設置は不可。 「速度落とせ」路面標示は設置済み。 積雪時の排雪は、状況に応じて道路管理者へ連絡する。
20	新井北小3	稲塚広島線 国賀交差点(横断後)から国賀方面 (国賀公民館手前あたりまで)	・蓋などのない用水路が続くので危険 ・[冬期]雪が積もると境目が分からず、歩道もなく交通量も多めなので心配 ・R8から児童通学路となった ・[冬期]歩道除雪が入らず、歩道を歩行できなかった。	③④			○			○	○								○		北側より順次、用水路の蓋を設置している。（建設課）
21	新井北小4	稲塚広島線 国賀交差点(横断前)	・信号までの歩道や、信号待ちの場所に車の出入りが頻繁で危険 ・[冬期]雪が積もると見通しが悪くなり、信号待ちが危険 ・R8から児童通学路となった	③④			○			○	(○)	○			○				○		路側帯（外側線）の引き直しを検討。（道路管理者） 来年度以降に横断歩道の引き直しを検討。（妙高警察署）
22	妙高小1	大鹿バス停	バス停付近の側溝に蓋がないため、児童が通行する際に危険である。特に冬の降雪時に危険が伴う。	③④			○			○									○		構造的に蓋の設置は難しい。
23	妙高小2	関山 関温泉方面から旧北国街道と妙高高原公園線の十字路までの道路	関温泉方面から下ってくる温泉入口十字路までの道路は、歩道がほぼなく、下りの道が大きくカーブしているため、登下校中の児童にとって大変危険である。	①④			○			○									○		注意喚起の看板等をPTAと協力して設置を検討する。
24	妙高高原小1	毛祝坂交差点【旧北国街道(市道毛祝坂二俣線)と市道田口中央線の交差点部】	見通しが悪い。登校時間帯は車両の交通量が多い。	③			○			○									○		横断旗を設置済み。
25	妙高高原小2	杉野沢のバス停付近(宮前、温泉センター前)	バス停付近はカーブが連続していたり勾配があったりして、横断時に注意が必要。子どもが横断する場所であることをドライバーに喚起するような工夫が必要。	③			○			○									○		安全確保のため、スクールバス乗降場所を移動する検討は可能。
26	妙高高原小3	ほっとアリーナ前(妙高高原体育館前)	駐車場でスクールバスに乗降するが、道路を横断しなければならない児童が多数いる。帰宅のために駐車場から道路を横断する際に、雪壁が1m近くを超えてしまうと、道路に出ないと左右の目視ができない。定期的に雪壁を崩し安全確保をしてほしい。	④		○				○	(○)								○		積雪時の排雪は、状況に応じて道路管理者へ連絡する。

27	妙高高原小4	国道18号線から校門に向かう道路(市道毛祝坂二俣線)	国道へ出る間際(ちょうど校門の前)にカーブがある。国道へ出る車両にとっても国道から入ってくる車両にとっても道幅が狭い。また、登校のスクールバスが入ってくる時間帯は、通勤のために通る車両が多い。本来国道側が優先であるが、学校前を通る車両が国道上り車線が空くまで国道に出られないと、国道下りが渋滞を引き起こすことになる。スクールバスへの追突事故が考えられる。	②③		○					○	(○)							○		積雪時の排雪は、状況に応じて道路管理者へ連絡する。
28	妙高高原小5	学校前を通る旧北国街道(市道毛祝坂二俣線)	降雪期は道路の幅が狭くなりがちである。グリーンベルト化されていない部分は路側帯の白線が隠れている状態であり、車道を歩くことになる。	①②		○					○	(○)							○		道幅が狭く、グリーンベルトの設置は難しい。電柱への注意喚起の標示を検討する。(環境生活課)
29	妙高高原小6	池の平ランドマーク 前交差点 県道 杉野沢二俣線 県道 池の平妙高温泉線	信号機のない交差点で、冬季は交通量が多く、雪の壁ができると見通しも悪くなり危険度が上がる。一時停止する車両もかなり前方にはみ出る。雪の壁を1m以下になるように定期的に排雪を希望。	①		○					○	(○)							○		積雪時の排雪は、状況に応じて道路管理者へ連絡する。
30	妙高高原小7	校門付近の道路(市道毛祝坂二俣線)	統合の際駐車場を広げた。その駐車場の雨水が逃げる水路が校門横にある。道路の側溝に流れ落ちる部分と側溝へ落ちる穴がかみ合わず、雨が降ると雨水が道路にそのまま流失し、児童が歩く際に危険。また、その側溝周辺が陥没している状態である。玄関のゴムマットを敷いて補強中。	②③	○								○								対応済み
31	妙高高原小8	妙高高原インターチェンジ入口三叉路からホトアリーナへ曲がる三叉路の道路 市道 旧県道妙高温泉線 市道 高原スポーツ公園線	道路の傾斜がきついため、下がってくる車がスピードを出しやすい。妙高高原中学校裏門入り口前の場所であり、横断歩道も冬シーズンの除雪で薄くなって見えづらくしやすい。カーブミラーの位置もずれている場合があるので注意。	①③	○						○	○	○		○	(○)			○		カーブミラーの角度調整を実施する。(道路管理者) 横断歩道、停止線の引き直し(妙高警察署)